

多面的企業力向上研修会実施業務 受託候補者特定基準

評価項目	評価の観点	配点		
		大項目	中項目	小項目
<b>1 業務目的の理解度</b>		<b>10</b>		
自動車関連企業を始めとしたものづくり企業の現状の課題とその対策について	自動車関連企業を始めとしたものづくり企業の現状の課題について十分な見識を有しているか。	(10)	(10)	(5)×2
<b>2 業務の実施方針</b>		<b>50</b>		
(1) 個別企業への支援	ア 個別企業を支援する方法が明確かつ適切か。 イ 個別企業への支援の考え方は、脱炭素化・電動化に向けた生産技術力の強化及び収益改善に資するものになっているか。	(40)	(20) (20)	(5)×4 (5)×4
(2) グループへの支援	ア 先進ものづくり企業への視察、その他グループで取り組む活動の企画の案の例が適切か。 イ グループ支援の考え方は、企業間の交流を促進し、参加企業の取組を促進するものとなっているか。	(10)	(5) (5)	(5)×1 (5)×1
<b>3 実施体制等</b>		<b>40</b>		
(1) 実施体制等	ア ディレクターとなる者は、個別企業の現状分析・課題整理・課題の解決・改善活動への取組に対する適切な助言及び指導ができる能力（専門知識、ノウハウ、保有資格等）及びグループに共通する課題やその解決方法を適切に分析できる能力が十分備わっているか。 イ 事業実施に必要な人員が確保され、発注者との協議や発注者の要望等に迅速かつ柔軟に対応できる体制が備わっているか。 ウ 事業費の積算は適切か。	(30)	(15) (10) (5)	(5)×3 (5)×2 (5)×1
(2) 類似業務の実績	類似業務として、自動車関連企業を始めとしたものづくり企業での支援の実績が豊富か。	(10)	(10)	(5)×2
合 計		<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>

※ 高 ←—————→ 低  
評価点 5・4・3・2・1

【留意点】合計点が6割（60点）に満たない場合は、その提案は無効とする。